

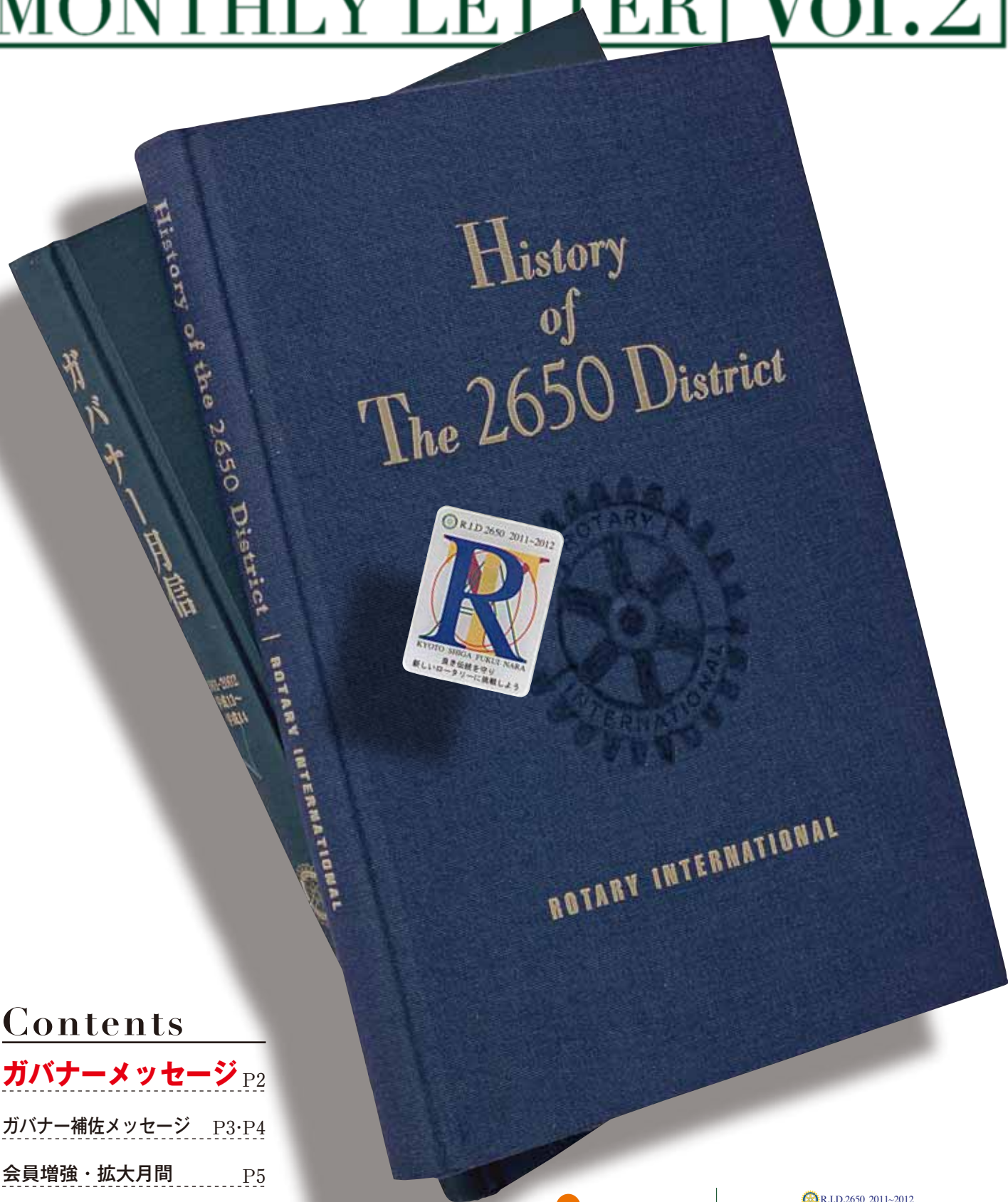
2011~2012 年度 国際ロータリー第 2650 地区

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2011.08.01

Vol.2



Contents

ガバナーメッセージ P2

ガバナー補佐メッセージ P3:P4

会員増強・拡大月間 P5

会員増強セミナー報告 P6

会員数の増減及び出席率表 P7

会員の動き P8



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R.I.D.2650 2011-2012



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

R.I.D.2650 2011-2012



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

from GOVERNOR

「新しい会員を迎え入れよう」

2011～2012年度 第2650地区ガバナー 今西 信裕（京都南ロータリークラブ）



ロータリアンの皆様、8月は「会員増強月間」です。会員増強は今日、私達が直面している大きな課題です。ここ数年来、歴代ガバナーが大変なご努力をなさっておりますが、我が地区の会員数の減少は止まっておりません。何とか減少にストップをかけ、少しでも増加に転ずればと、出きる限りの努力をする所存です。ロータリアン一人一人も新しい会員を迎える努力をお願いします。

RIでは長期計画のひとつの柱として「クラブのサポートと強化」の目標として

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・さまざまな奉仕活動に参加するよう奨励する
- ・会員の多様性を増進する
- ・会員の勧誘と維持を改善する
- ・リーダーを育成する
- ・ダイナミックな新クラブを結成する
- ・クラブと地区における長期計画の立案を奨励する

と提示しています。

ロータリーの基本は、クラブであり、それぞれのクラブが独自性を持って自立しております。RIのリーダーシップとは、コントロールをするために存在するのではなく、動機付けをして、導くことにあります。

自分のクラブが元気で活力があり、活発で魅力的であることが、一番重要なことです。クラブの例会が充実しており、クラブの奉仕事業が地域の人々や世界の人達に役立ち、クラブの仲間が皆、善良なロータリアンで、ロータリーの哲学、核となる価値観を共有し、一人一人の会員がクラブをより活性化し、強化するべく努力しているクラブならば、きっと魅力的な、入会したくなるような素晴らしいクラブに間違いありません。まず自分のクラブを充実させることです。

本年度私は、各クラブが自分のクラブの長期計画をそれ

ぞれ作っていただくよう、ガバナー補佐様を通じてお願いいたしております。クラブ会員一人一人が自分のクラブの3年後のあるべき姿を思い、共通の認識、目標を持つことは、組織体の活性化には一番重要なことです。会員増強の問題は、クラブの長期計画と重ねて考えてみると、よりの確になると思います。・クラブの現状を顧みて、・現状はどうか・どの分野で成果を収めているか・最大の課題は何か・会員の考えやアイデアはどうか・変化の必要性や動きはあるか、等の現状分析をし、クラブの現状を知り、自分達は何を目指しているのか、3年後になりたいと思うクラブの姿を想像する。そこで目標会員数や会員の多様性の目標を定め、クラブ会員に支援していただけるよう、十分に推敲を重ね、理想の姿を達成するために、今すべきこと、次年度すべきことを確定し、クラブ全員が一丸となって推進することによって、クラブの一体化、活性化、クラブの充実がはかれます。

長期計画を作る中で、クラブの重要問題の一つである会員基盤をどのように維持、強化するかを考えていただくことが重要です。クラブはクラブ組織全体を通じて、継続性と一貫性を保持し、体質の強化を図り、クラブ全体のモチベーションの更なる高揚を意識してコミュニケーションを深め、クラブの意志を全会員が共有し、明確にすること。その中で会員増強のあり方も方法も確定すると思います。あくまでもクラブ主導であり、クラブの判断です。クラブの充実には、思いを込めた潜在意識にまで浸透するような強烈な意志の力と、莫大なエネルギーが必要です。特にクラブのリーダーたる会長様の強い思い、実行力、リーダーシップにかかっています。

会員増強を、長期計画を作る視点より考えてみることは、本年度地区テーマ「良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう」を実行することです。

「最近思うこと」

from ASSISTANT GOVERNOR

大西 省司
(福知山西南ロータリークラブ)



「ロータリーは変わらなくてはならない」このポールハリスの言葉をしきりと耳にするこの頃です。それにつけて、思い出すのは、もう30年近くも前になりますか、まだロータリーのイロハも理解できていなかった頃の話です。とある機会に神戸の某パストガバナーのお書きになった文章を目にしました。一瞬、頭をガンと殴られたような衝撃と感動を覚えました。それが私のロータリー思想への信奉のスタートとなったように思います。記憶に残っているそのお話をご披露いたします。そのお話はロータリーを組織面と思想面からお話しされていました。

ロータリーを組織面から見たお話の中で出席の問題として次のようなお話でした。ロータリーの原則の一つは、4回連続して例会を欠席した者は、自動的に会員資格を失うという「例会出席強制の原則」です。「但し、正当な理由がある場合はこの限りにあらず」と但し書きが加わるのが一般的な規則ですが、一切の例外を認めない硬直したルールを作りました。それはどういう事かと言いますと「お互いに助け合い、例会毎にお互いの安否を気遣って、皆、共に栄えていこうと誓っておきながら例会に出てこない。そんな冷たい奴は仲間じゃない。クビだ」と言うのです。一切の例外を認めないで「とにかく例会に出て来い」というルールを作ったのがポールハリスを始めとした初期のロータリアンの心でした。その心を忘れてはならないと思います。ともすれば出席に対する考えがルーズになりがちのこの頃、この心を忘れないで欲しいと思うのです。

次に思想面のお話ですが、決議23-34の冒頭に「ロータリーとは利己と利他との調和を目的とする哲学だ」と言い切っています。利潤追求の心、それを哲学の世界にまで高める事に成功したのはロータリーだけです。その考え方を私達の職業実践面に投影していったのが「職業奉仕」という考え方であります。ロータリーが開発したこの実践倫理思想に惚れ込んでこれを提唱していったのが我々の多くの先輩達

でしたが、「ロータリーはアメリカに本部を置くフリーメーソンの隠れ蓑だ」と特高警察や憲兵隊からの弾圧が始まりました。思想的な弾圧です。昭和15年9月11日、東京ロータリークラブの壇上に米山梅吉氏が立ちました。「重い足を引かずって、わたしは今ここにたつ。…中略…ひとまず解散して、時の来るのを待とう」といって壇をおりました。これが日本のロータリークラブが崩壊する最後の姿でした。米山氏はそれから2度とロータリークラブの壇上に立つことはありませんでした。がこれで日本のロータリーは全て終わったかといえますと実は終わらなかったのです。神戸木曜会、東京水曜クラブ、大阪金曜会、札幌職能クラブ等と名前をかえてロータリー運動は続いていきました。これは一つ間違えると憲兵隊や特高警察に引っ張られても仕方がないんです。そういう身の危険を冒してまで、彼等を燃え上らせたものは何だったのでしょか。やはり、ロータリーの実践倫理思想にぞっこん惚れ込んでいたということ、そしてロータリー運動をこよなく愛していた所為だろうと思います。今日本のロータリアン、もし何らかの弾圧によって組織としてのロータリーが壊滅したら何人が危険を冒してまで先輩達のようにロータリー運動を続けることができるでしょうか。

先輩ロータリアンの心を偲び、そこに学び、そしてロータリーの素晴らしい実践倫理思想というものに惚れ込み「ロータリーの世界に、もっとロータリーを」これが未来のロータリアンの期待に応える我々の務めだと思うのですが如何でしょうか。

「基本」

玉井 公詞

(京都伏見ロータリークラブ)



from ASSISTANT GOVERNOR

RIからいろいろな推奨されるメニューが数多く押し寄せてきますが、あくまでオプション(自由)であり、採用するかどうかはクラブの選択にあります。すなわち、クラブの独自性があります。新しい構造変化、新しいプランにはいくつかの要素、いくつかのポイントがあります。新しいプランを採用するかはクラブに任されています。世界中のクラブが採用する。そういうものではありません。

この100年間にロータリーが非常に発展してきたのはひとえに基本的に4大奉仕があったからだと思います。

今回は新世代を含めて5大奉仕になりましたが、4大奉仕のときは社会奉仕の中に青少年がふくまれて十分に機能をなしていましたが、CLPの採用により、その変化をうまく活用されているか疑問です。

現在ロータリークラブの出席率が減少し、会員数も減少しています。それはこの組織を運営するやり方の変化のせいではないでしょうか。1905年ポール・ハリスが創立した当時の基本に戻るべきではないでしょうか。そしてこの基本こそがロータリーを今まで立派に運営してきた理由ではないでしょうか。

クラブ運営について極めて基本的要素が3点あります。一つは「ロータリーは奉仕活動を行うに当たって、各クラブが絶対的な自主権を持っている」ということです。RIはいかなるクラブに対しても特定の奉仕活動を命令したり、禁止したりすることは絶対あってはならないというのが原則です。

RI、地区、クラブという組織がありますが、決して上下関係ではなく、各クラブの活動を定めるのはあくまでもクラブの自主的判断によるものです、このことはロータリー100年の歴史の中でも重要な文書のひとつである「決議23-34」があります。

二つ目は「寛容」の精神です。個々のロータリアンがロータリーに関して見出す価値や喜びは人によって様々です。社会奉仕や国際奉仕の具体的活動に汗を流すことに喜び

を感じる人、クラブの親睦活動の中で自己啓発に価値を見いだす人など様々です。

ポール・ハリスは「人の考え方はその気質や遺伝、環境、経験等、幾多の要因で形成される。人によって考えが違うのは当たり前だ。100人100様です」といっています。ですから、「独断的なロータリーの主張は無益だ」ともいっています。

このような人々の価値観の相違があるが、ロータリーとして一つにまとまる。それが寛容の精神「相手の善意を信じる心」だと思います。寛容の精神こそロータリーが目指す「友愛と親睦」の固い基盤をなすものだと思います。

三つ目はロータリーの綱領です。ロータリアンはよく耳にする言葉です。ロータリーの唯一の目的は「有益な事業、職業」の基礎に「奉仕の理想を据える」ということです。自分の職業の倫理性を高めてそれを通じて広く世の中に貢献するということです。

今西信裕ガバナーの地区テーマ「良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう」のテーマのもとに奉仕活動に丸となって取り組んでください。ロータリーの中核となる価値観の一つ一つを頭に入れ、地区チームの皆さまが一つになって、地域のため、世界のために一人一人が汗をかく奉仕を通じて、友情の絆で結束し、奉仕の理想に邁進しようと呼びかけておられます。

私も今西信裕ガバナーのご厚意に向かって3年目を向える補佐として過去の経験を十分に活かし、精一杯努力して明るい楽しい活力のある年度を目指して頑張ります。

「会員増強におもう」

from DISTRICT CHAIRMAN

杉本 直
(京都伏見ロータリークラブ)



ロータリーは奉仕の志を持つ人達の集まりで、ポール・ハリスが1905年に提唱し、4名で発足して以来、新しい人々の入会により、クラブが若返りながら増強・拡大を続けて来たお陰で、100年を経て世界214の国と地域で122万人の会員を擁する団体に成長して来ました。

当2650地区では1997年6月末に6713名に達しましたが、その後14年間毎年平均150名(1クラブ当り1.5名)の減少を辿っています。これに対しRIも種々の制度改革を行っていますが、その傾向を止める迄には到っていません。千玄室元RI理事も地区協議会の基調講演でも触れておられましたが、今や会員増強は良し悪しは別として地区のメインテーマになった感があります。

新会員が無いのではありません。当地区では年間平均約300名(1クラブ当り3名)の方々に入会して載っておりますが、それを上廻る約450名(1クラブ当り4.5名)の退会者がおられます。何故でしょう。その原因を単に不況、不景気とするのでは無く(勿論それも大変大きな要因ではありますが)その意味を考える必要が有ると思います。

今、ロータリークラブはそのクラブのロータリアンに会費に見合う対価を提供出来ていないのではないのでしょうか。新しい価値観を持つ世代が登場しています。その世代をも巻き込む、対価あるロータリー活動を考える必要が有ります。忘れる事の出来ない感動を実感、共有出来るロータリーならではの奉仕・サービス活動。これを各クラブの会長を中心とした理事会がその会員に提供出来るならば、退会者も減少し増強にも繋がると考えます。難しい事ですが、5大奉仕を通し会員が感動体験を共有し、向上に資する事が出来る「会員の為の活動」を創造する。懐古・現状維持では意味がありません。これは私達の会社経営でも同様です。お客様、従業員にどのような感動を提供するのか、常に考え続けなければなりません。過去の成功体験依存、現状満足では存続は覚束きません。

会員増強は全体的な視点で考える必要が有ります。その為にも年齢・性別・国籍に対する偏見排除は勿論の事、ロータリーの魅力を再確認すると共に、再構築をしていかななくてはなりません。今RI・地区ではその活動を推進するべく懸命の活動が展開されています。余りに熱心なので会員増強は地区の為であり、地区の問題なのだ勘違いされるロータリアンもおられる程です。しかし、会員増強は各々のクラブの存続に関わるクラブ自身の問題です。増強に於ける困難な点、やるべき方法論は今迄の委員長を中心とした委員会活動の中で討論し尽された感があります。あとは行動あるのみです。

新会員入会迄の苦労は大変なものです。会長が中心となり、増強委員長そして志ある人達が強い決意を持って活動を継続しなくてはなりません。その努力を無にしない為にも、クラブ活動の充実は必須であります。私達会員増強・拡大委員会は単に私達委員会だけの問題としてでは無く、地区諮問委員、委員長経験者の方々にも御指導を戴き、前年度同様他の委員会との連携を通してロータリーの向上を目指していこうと考えています。

杉本 直(すぎもと ただし) ロータリー歴

1996年5月10日	京都伏見ロータリークラブ入会
2004年～2005年	クラブ幹事
2008年～2009年	クラブ会長
2009年～2010年	地区会員増強・拡大委員会副委員長
2010年～	地区会員増強・拡大委員会委員長

国際ロータリー第2650地区 2011～2012年度
会員増強セミナー報告

2011年6月19日(日)13時30分より2時間半にわたり、恒例のRI第2650地区会員増強セミナーを京都JA会館にて開催致しました。長いロータリーライフにおいては、ほんの短い時間ではありましたが、有意義なものでした。

平井義久諮問委員(パストガバナー)、今西信裕ガバナーエレクト、大西省司ガバナー補佐、玉井公詞ガバナー補佐にご出席いただきました。服部先生の御講演から神谷保男パストガバナー、富田謙三パストガバナーにもご臨席を賜りました。降水確率70%、且つ日曜日にもかかわらず、多数の会長、増強委員長の方々にご出席を賜り、誠に有難うございました。

皆様ご存知のように、近年ロータリークラブ会員数は減少の一途をたどっております。新会員がないのではなく、それ以上に退会者が多いという現状をふまえ、まず井上暎夫先生(RI第2660地区パストガバナー・2011-12ロータリーコーディネーター)に、ロータリーの現状についてお話しいただきました。会員の減少は憂うべきものではありませんが、それを恐れず、ロータリークラブの真の魅力を追求める事も大切だというお話に深く感銘を受けました。

つづいて服部芳樹先生(RI第2630地区パストガバナー・2007-09RI会員組織地域コーディネーター)には、魅力あるロータリークラブ創りと高邁な理想を追求めるロータリアンの姿を指し示していただきました。あたかも北の空に輝く北極星のように。

ロータリーの基本理念である「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「新世代奉仕」について、また「四つのテスト」である「真実かどうか、皆に公平か、好意と友情を深めるか、皆のためになるかどうか」を揚げ、感動できるクラブ創りのあり方を幅広く、熱く語っていただきました。その上、世の中の変化に適応する新しいロータリーの姿、(例えばEクラブ等)についても教えていただき、一同大変勉強になりました。

会員増強の為には、新会員の獲得も確かにとても大切ではありますが、それ以上に退会防止、真に魅力あるクラ



ブ創りが必要と考えます。長期計画に基づき、それぞれのクラブの多様化をはかり、各地域のニーズを汲み上げ、それぞれの魅力を発揮して、感動あるロータリークラブを目指したいものです。

開催にあたりまして、井上先生、服部先生にはご多用のなか、講演の依頼を快く引き受けていただき、誠にありがとうございました。また、地区会員増強・拡大委員、並びに地区担当幹事の皆様には、各地からご参集いただき、設営、受付等大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

この一年、地区ロータリー活動にご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

報告者:会員増強・拡大委員会
委員長 杉本直

5月 国際ロータリー第2650地区 2010~2011年度
会員数の増減及び出席率表

京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	5月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
綾部	31	0	0	31	31	1	1	3	100.00	0
福知山	61	0	0	61	59	4	2	3	84.80	0
福知山西南	47	0	0	47	46	4	3	4	98.92	1
亀岡	34	0	0	34	35	2	3	3	100.00	0
亀岡中央	21	0	0	21	19	2	0	4	96.43	2
京丹後	31	0	0	31	33	0	2	3	95.56	2
京都	188	1	0	189	184	18	13	3	99.02	0
京都伏見	89	0	0	89	87	8	6	4	79.71	4
京都平安	28	0	0	28	29	0	1	4	61.61	4
京都東	100	0	0	100	102	2	4	3	94.48	0
京都東山	81	0	0	81	80	4	3	4	97.51	3
京都北東	33	0	0	33	34	0	1	3	88.58	0
京都城陽	31	0	0	31	31	0	0	3	96.30	1
京都桂川	32	0	0	32	34	0	3	3	86.08	0
京都北	66	0	0	66	65	3	2	3	99.50	0
京都市南	213	3	0	216	212	13	9	3	94.09	0
京都モーニング	50	0	0	50	49	3	2	3	87.08	3
京都紫野	62	0	0	62	60	2	0	4	100.00	0
京都市中	41	0	0	41	41	1	1	4	100.00	0
京都市西	108	2	2	108	112	3	7	4	97.78	0
京都西山	19	0	0	19	19	2	2	3	92.27	1
京都乙訓	32	0	0	32	32	2	2	4	89.64	0
京都洛中	76	0	0	76	78	2	4	4	98.62	0
京都洛北	72	0	0	72	66	9	3	3	91.27	0
京都洛南	33	0	1	32	35	0	3	3	91.29	1
京都洛西	45	0	0	45	47	1	3	4	91.21	6
京都洛東	37	0	0	37	35	3	1	3	90.74	0
京都嵯峨野	25	0	0	25	25	1	1	3	73.33	0
京都さくら	29	0	0	29	28	1	0	3	96.55	6
京都西北	44	0	0	44	48	0	4	3	89.06	0
京都西南	49	0	0	49	49	2	2	4	97.01	5
京都紫竹	42	0	0	42	43	0	1	3	84.89	0
京都朱雀	38	0	0	38	38	0	0	3	88.09	2
京都田辺	21	0	0	21	20	1	0	3	96.58	2
京都山城	39	0	0	39	36	5	2	3	98.96	0
京都八幡	29	0	0	29	27	2	0	4	92.92	1
舞鶴	24	0	0	24	27	1	3	4	92.56	0
舞鶴東	45	0	1	44	45	1	2	3	91.17	0
宮津	40	0	0	40	42	1	3	3	87.18	0
園部	25	0	0	25	26	0	1	3	100.00	0
宇治	39	0	0	39	39	1	1	4	99.32	0
宇治鳳凰	47	0	0	47	45	3	0	3	95.74	4
小計	2,197	6	4	2,199	2,193	108	101	3.4	92.52	48

奈良県 (13クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	5月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
あすか	53	0	0	53	53	1	1	3	91.90	0
五條	26	3	0	29	25	6	2	3	80.02	1
平城京	36	0	0	36	33	5	2	3	88.68	4
生駒	31	0	0	31	30	5	2	3	75.77	1
橿原	62	1	0	63	61	2	0	4	82.13	2
奈良	142	2	2	142	144	7	9	3	96.80	3
奈良東	42	0	0	42	42	2	2	3	92.37	0
奈良西	48	0	0	48	48	2	2	4	95.26	1
奈良大宮	69	0	1	68	69	1	2	4	92.06	0
王寺	22	0	0	22	22	0	0	4	85.06	2
桜井	37	0	0	37	47	1	11	3	87.00	0
大和郡山	52	0	0	52	49	4	1	4	91.98	0
大和高田	96	0	1	95	93	5	3	4	92.84	1
小計	716	6	4	718	716	41	37	3.5	88.61	15

福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	5月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
福井	117	0	2	115	115	8	8	3	61.97	4
福井あじさい	50	0	0	50	45	6	1	4	67.78	3
福井フェニクス	41	0	0	41	41	2	2	4	84.15	8
福井東	30	0	1	29	30	3	4	4	79.65	2
福井北	113	0	0	113	115	3	5	2	87.39	5
福井南	50	0	2	48	52	1	5	4	75.73	0
福井西	31	0	0	31	32	1	2	4	81.88	0
福井水仙	22	0	0	22	21	2	1	3	71.21	1
勝山	30	0	0	30	27	3	0	4	90.83	3
丸岡	41	0	0	41	36	5	0	3	85.98	0
三国	30	0	0	30	27	4	1	3	92.85	4
大野	31	0	0	31	28	6	3	3	72.13	2
鯖江	37	0	0	37	36	2	1	4	86.29	0
鯖江北	17	0	0	17	18	0	1	3	70.83	0
武生	65	0	0	65	62	4	1	4	80.08	3
武生府中	33	0	0	33	34	1	2	3	93.75	0
敦賀	40	0	0	40	37	4	1	3	93.36	0
敦賀西	21	0	0	21	21	2	1	4	89.29	1
若狭	33	0	0	33	32	5	4	3	95.63	0
小計	832	0	5	827	809	62	43	3.4	82.15	36

滋賀県 (22クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	5月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
びわ湖八幡	47	0	1	46	50	3	7	2	86.76	2
五個荘能登川	23	0	1	22	24	0	2	4	82.95	0
東近江	44	0	0	44	45	2	3	3	93.83	0
彦根	66	0	0	66	64	5	3	3	96.22	4
彦根南	66	2	0	68	62	8	2	4	94.22	0
湖南	34	0	0	34	34	1	1	3	95.55	2
草津	42	0	0	42	42	3	1	3	87.39	0
水口	42	0	0	42	43	1	2	4	98.51	0
守山	46	0	0	46	44	4	2	4	90.69	0
長浜	59	0	0	59	61	3	5	4	90.68	0
長浜東	67	0	0	67	65	4	2	3	94.39	0
長浜北	28	0	0	28	24	5	1	4	79.23	0
近江八幡	52	0	0	52	48	5	1	3	93.75	1
大津	101	1	0	102	100	9	7	4	97.96	0
大津中央	28	0	0	28	29	1	2	4	91.96	1
大津東	24	0	0	24	21	3	0	3	86.96	2
大津唐橋	19	0	0	19	18	2	1	3	85.96	0
大津西	24	0	1	23	23	1	1	2	94.84	0
栗東	31	0	0	31	31	2	2	3	89.68	1
高島	42	0	0	42	41	1	0	3	99.02	1
野洲	34	0	0	34	33	2	1	4	88.28	1
八日市南	54	1	1	54	51	6	3	4	67.27	2
小計	973	4	4	973	953	71	49	3.4	90.28	17

合計 (96クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	5月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
合計	4,718	16	17	4,717	4,671	282	230	3.2	89.42	116

- 表作成にあたって
- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、5月会員数および入退会者累計数は5月末現在です。
- ・「期首会員数」は、2010年7月1日現在の会員数です。

※6月の会員数の増減及び出席率表は次号に掲載します。
 ※今年度は、ホームページにて会員数の増減及び出席率表の速報を掲載します。

5月 国際ロータリー第2650地区 2010~2011年度
会員の動き

5月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
京都	谷内 俊文	都市銀行
京都南	前田 大介	造園工事
京都南	山口 力三	警備業
京都南	小笠原 宏行	胃腸科医
京都西	児島 賢	会計士
京都西	上田 哲次	イベント企画プロデュース
彦根南	王本 智久	インターネットサービス業
彦根南	山脇 秀介	不動産業
大津	馳平 恵三	生命保険
八日市南	佐野 和夫	生鮮食料品卸売
五條	塩崎 万規子	老人ホーム
五條	斎藤 潤	老人ホーム
五條	太津 隆司	農業
奈良	阿部 倫也	証券業
奈良	鶴戸 亮彦	生命保険

5月退会者一覧

クラブ名	氏名
京都西	八野 良次
福井	伊藤 芳雄
福井	細井 永晶
福井東	宮城 始
福井南	大久保 武男
福井南	渡辺 清治
びわ湖八幡	澤田 克徳
五個荘能登川	木村 宏
大津西	安原 庄栄
八日市南	奥村 章三
奈良	藤山 敏
奈良	高津 公彦
奈良大宮	樫木 八洲夫
大和高田	小田 正之

5月ご逝去会員

謹んでお悔やみ申し上げます

クラブ名	氏名	日付・年齢
舞鶴東	前田 治様	5月17日ご逝去 享年81歳
京都洛南	堀野 欣哉様	5月27日ご逝去 享年77歳
京都西	蒲生 曠史様	5月28日ご逝去 享年82歳



国際ロータリー第2650地区
ホームページの紹介

第2650地区のホームページ

<http://www.rid2650.gr.jp/>

第2650地区のホームページが新しくなりました。各地区委員会活動の報告や各クラブからの事業報告等、様々なメッセージ等を掲載いたします。是非ご覧になってください。



Kyoto/Fukui/Shiga/Nara
R.I.D.2650
2011-2012

国際ロータリー第2650地区
2011-2012年度 **ガバナー 今西信裕**

■ガバナー事務所
〒600-8216
京都市下京区塩小路通烏丸西入東小路町614番地
新都センタービル5階520号室
TEL.075-343-2650 FAX.075-343-2651
E-mail:gov11-12@rid2650.gr.jp